

Makuhari's Memory

全国の仲間とともに笑い、学び、過ごした5日間

令和7年6月23日～27日の5日間、「契約実務」研修を受講しました。受講する前は同じ業務を行う全国の仲間に会えるとあってとても楽しみにしていましたが、事前に提供された名簿に「代表幹事」と書いてあり、一体何をすればいいのか分からず楽しみから緊張に変わったのを覚えています。

講義では、弁護士や大学教授等非常に豪華な講師陣が講義をしてくださり、知識を深めることができました。また、契約実務の専門性の高さ、常に最新の情報を得ることの重要性を再認識し、日々自己研鑽していく必要があると強く感じました。

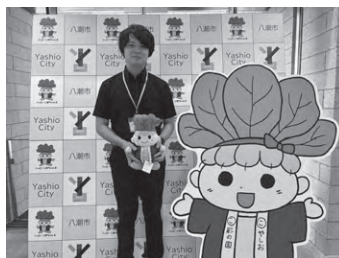
市町村アカデミーの特色でもある課題演習では、各自治体が抱える課題について班ごとに話し合い、解決策を考え、発表に向け協力して資料を作成していく作業は大変刺激的で絆が深まるのを感じました。

最終日前日の夜には交流会を開催しました。副幹事や座長の協力により、交流会にはほぼ全員参加していただきました。5日間という短い研修期間でし

たが、講義後毎日のようにラウンジに集まり、仕事のことや趣味のこと、地元のこと等を話した日々はとても楽しかったです。

最後になりますが、市町村アカデミーの職員の皆様、講師の皆様、クラスの皆様、また、多忙の中、快く送り出してくださった職場の皆様に感謝いたします。大変貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

特に、縁あって同じH班となったメンバーには有意義な時間を過ごせたこと大変感謝しております。



竹内 利幸

埼玉県八潮市
総務部契約検査課主任
〈受講研修科目〉
契約実務
第39期第1組（令和7年度）

知識と仲間を得られた5日間

令和7年6月30日～7月4日の5日間、素晴らしい講師の方々、他の自治体職員と共に学習、演習、また懇談した時間は非常に有意義であり、かけがえのないものとなりました。

実は、4月に異動したばかりで「協働」の業務に就いてまだ3ヶ月足らず、他の受講者についていけるかなり心配していました。そして、いざ研修に入ると、講師の方の講義内容、全国から集まった受講生は非常にレベルが高く、驚きました。同時にこの高いレベルの研修に参加できることは滅多にない機会だと捉え、真剣に研修に臨みました。

特に毎日講義後に設けられている演習の時間では、最終日の発表に向けて、講義で学んだことを基にしながら班員と様々な議論を行い、発表内容を詰めていきました。日常の業務の中ではなかなかできることではない経験だったので、非常に刺激になりました。

代表幹事という大役をいただき、不安ではありましたが、お二人の副幹事のおかげで研修生の皆様が

楽しく懇親でき、また研修に集中していただく環境を準備することができました。本当にありがとうございました。この研修を通して得た一番の財産は、全国各地に心強い仲間ができたことです。この繋がりをこれからの業務に活かしていきたいと思います。

最後に、同じ時間を過ごして切磋琢磨した仲間達、熱い講義をしていただいた講師の方々、市町村アカデミー研修所の職員の皆様、また多忙な期間にもかかわらず快く研修に送り出してくれた職場の皆様、みんなに感謝いたします。



藤野 尊

福岡県那珂川市
総務部総務課協働のまち推進担当係長
〈受講研修科目〉
住民協働による地域づくり
第39期第1組（令和7年度）

Makuhari's Memory

もっと知りたい!DXへの意欲を掻き立てる3日間

令和7年7月7日から9日まで「業務改革（DX）のための基礎知識講座」を受講しました。DXが業務改革を進めることに欠かせないと知りつつも、どのようなことを行えばよいのか、そもそもDXとは何かなどの疑問を持っていたこともあり、申し込みに至りました。

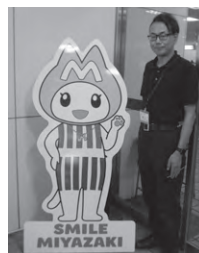
初日の「業務改革（DX）の概念や基本的知識・その重要性」、2日目の「業務フローの抜本的改革（BPR）の進め方とそのポイント」の両研修では、日常的にDXや生成AI学習が進んでいることや自治体もデジタルの変革が求められていること、BPRの手法を学びました。

また、業務の課題や問題を可視化させ、改善すべき業務プロセス表を作成することで、デジタル導入やAI活用の必要な場を見出すことができるなど、グループワークでの課題の取り組みを含め、今後の実務に大きく役立つ重要な学びを得ました。

3日目の石川県金沢市や愛媛県宇和島市の事例紹介も今後の業務の糧となる内容でしたが、振り返ると、3日間という期間でDX推進への意識や機運向上、人材

育成の必要性、業務改善・変革に向けた動きには常にデジタルへの認識を持つことが大事など、今回の研修は基礎知識と言えど、専門的な要素が強く、DXのことがもっと知りたくなる幅広い内容の研修でした。

短期間だったこともあり、参加されたすべての方と関わることはできませんでしたが、同じ空間で有意義な研修を受講できたことは貴重な機会だったと実感しています。研修を企画していただきました市町村アカデミーの皆様や講師の方には、心から感謝いたします。ありがとうございました。



横山 利彦

宮崎県宮崎市
田野総合支所農林建設課副主幹
〈受講研修科目〉
業務改革（DX）のための基礎知識講座①
第39期第1組（令和7年度）

メンバーといっしょに人事評価と向き合った5日間

幸手市は平成28年に人事評価制度を見直してから10年目で、新しい働き方や考え方に対応する時期がきていました。そこで、再び制度の見直しをするにあたり、何かヒントがほしい、しっかりと知識を身に付けたいと思い、7月に「人事評価制度の改善と活用」を受講しました。

研修では、制度見直しの考え方やポイントを理解でき、その上で、演習で自分の自治体の評価シートを使って見直す箇所を確認できる、まさに実践的な内容でした。

班演習で、全国の自治体から集まったメンバーと情報交換や意見交換をし、同じように課題を抱え、解決しようとしていることが分かりました。これからも相談できる仲間ができたことを心強く思います。

また、地方自治を研究されている大学教授の講師の方々からは、地方自治の今後の動向を踏まえ、人材育成や人材確保の観点から御講義いただき、人事評価制度を広い視野で捉えることができまし

た。

人事評価は処遇に反映するものと考えがちですが、本質は人材育成に繋がる制度であることを改めて実感しました。職員ひとりひとりに高い能力が求められる中、今回の研修を活かし、職員のやる気を引き出す、能力を高める人事評価制度にしていきたいと思います。

最後に、研修所でお世話になった職員のみなさん、いっしょに研修で学んだみなさん、研修に参加させてくれた職場のみなさん、ありがとうございました。



戸塚 陽子

埼玉県幸手市
総務部庶務課人事給与担当主席主幹
〈受講研修科目〉
人事評価制度の改善と活用
第39期第1組（令和7年度）